

都財政に関する意見交換会資料

# ポストコロナの社会経済情勢と財政運営の考え方 ～不確実な時代に行政が求められる役割とは～

2020.6.26

みずほ総合研究所

調査本部本部長代理・首席エコノミスト

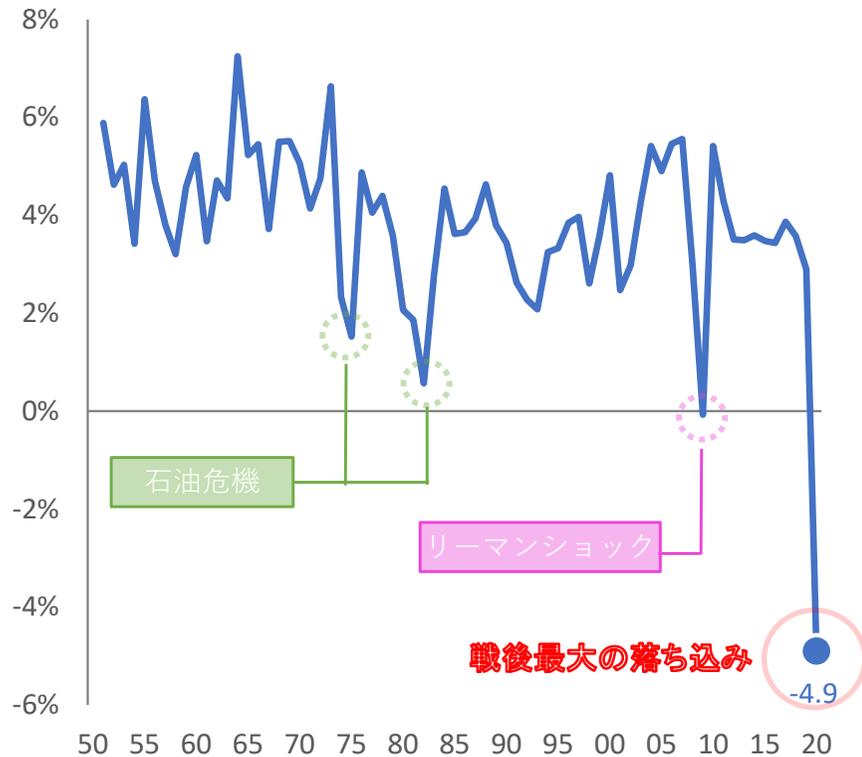
太田智之

tomoyuki.ota@mizuho-ri.co.jp

# 類を見ない危機・不確実な回復

## IMF世界経済成長率見通し(6/24発表)

IMFはSocial distance継続による回復テンポの鈍さや生産性低下等を理由に成長率見通しを更に下方修正

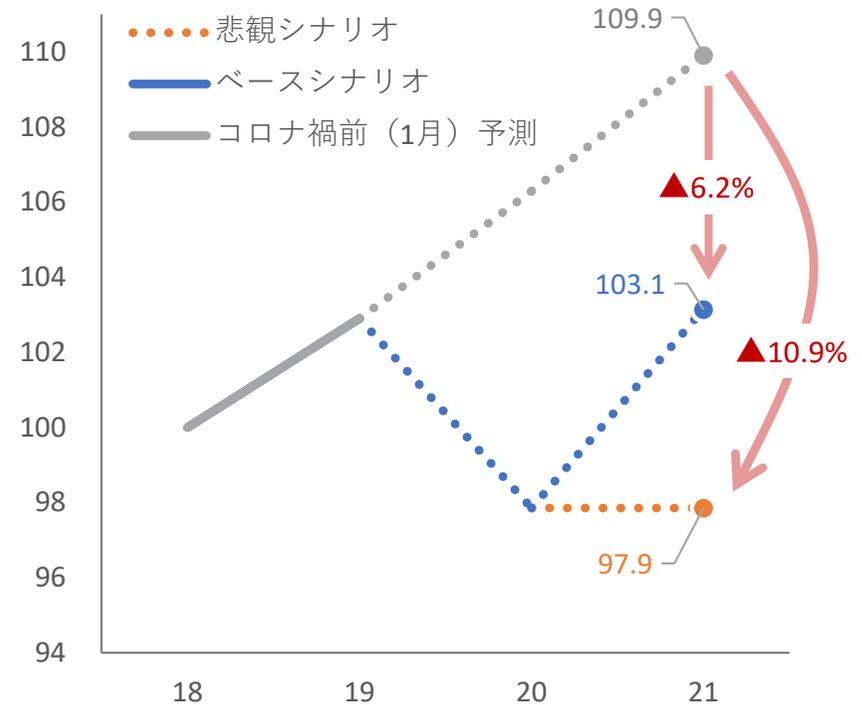


(出所)IMF、Our World in Dataより、みずほ総合研究所作成

## シナリオ別にみた経済の水準

21年に持ち直し(ベースシナリオ)も水準は低位  
第2波襲来のケースでは21年でもコロナ禍前を下回る

(2018年=100)

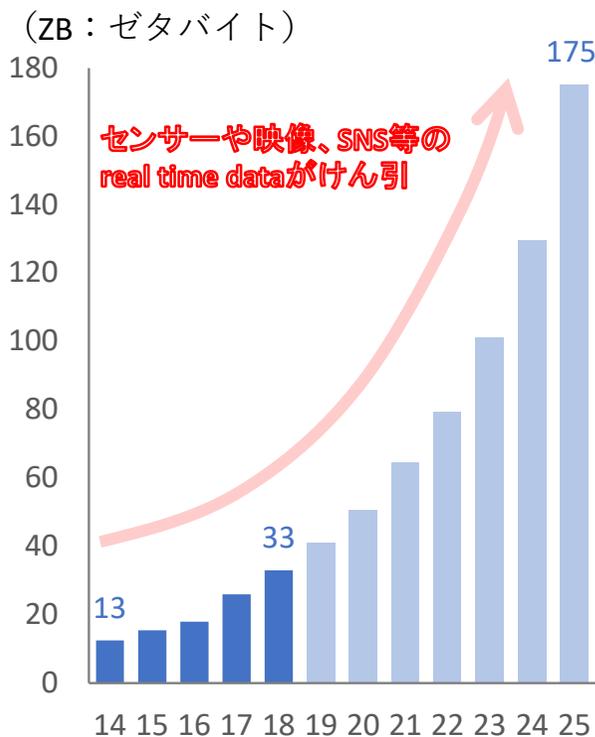


(出所)IMF、Our World in Dataより、みずほ総合研究所作成

# コロナ禍でも変わらない3つの潮流

## デジタル化 Digital formation

教育・医療・製造等でデジタル化が進展  
世界のデータ量は飛躍的に拡大

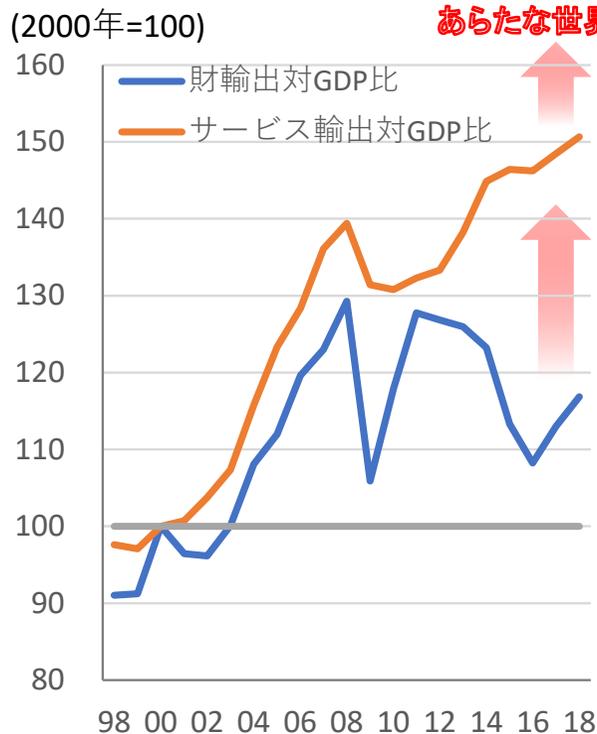


(出所) UN、UNCTAD、IDCより、みずほ総合研究所作成

## グローバル化 Globalization

モノから人(サービス)、人からデータへ  
スマート・グローバル化の時代

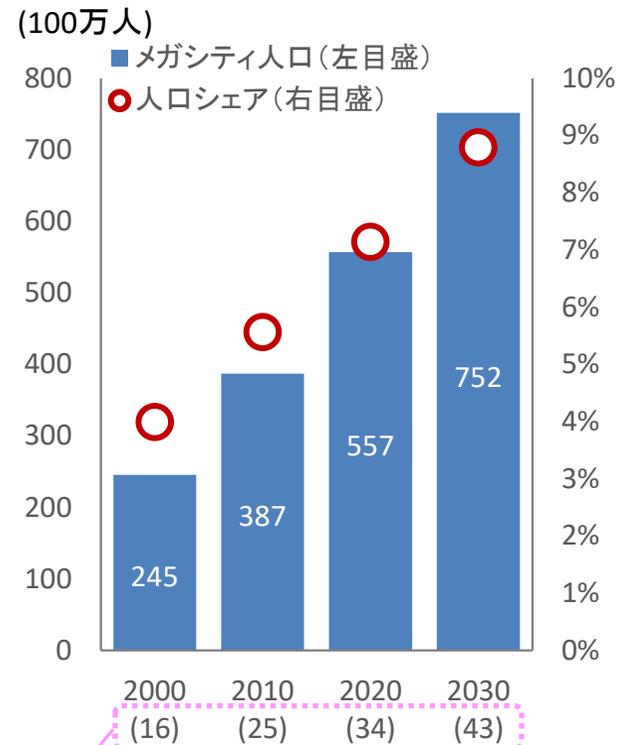
データが切り開く  
あらたな世界



(注)2000年を100として指数化

## 都市化 Urbanization

サービス化の流れ(集積の魅力)は不変  
世界で高まるメガシティの存在感



人口1000万人以上のメガシティの数

# 日本(東京)を取り巻く環境変化と対応すべき課題

グローバル化

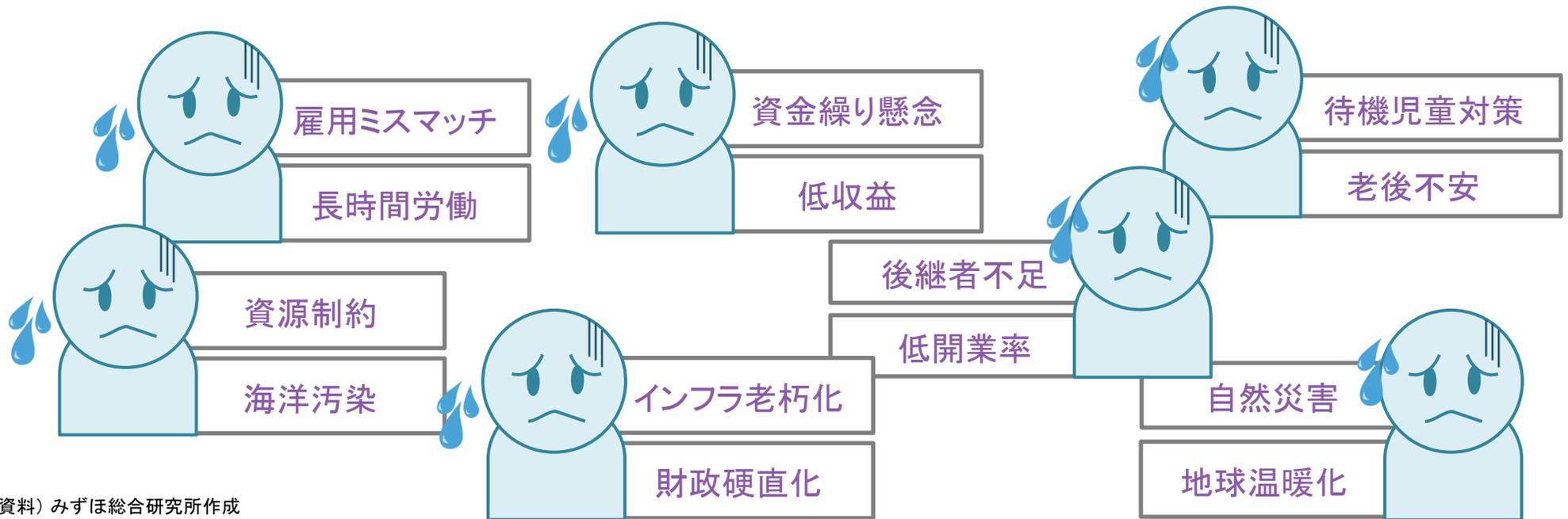
情報化・サービス化

少子・高齢化

環境意識の高まり

技術革新の加速

社会価値基準の変化



(資料) みずほ総合研究所作成

# 既に多様な政策メニューが存在。必要なのは実効性を高める仕組み

戦略ビジョン



健康長寿社会

子育て支援

働き方改革

ベンチャー支援

安全安心なまちづくり

「未来の東京」戦略ビジョン

経営診断・相談

展示会・商談会開催

事業計画策定支援

大企業とのマッチング

サイバーセキュリティ対策

海外販路拡大支援(人材育成)

下請企業対策(取引適正化)

技能人材・中核人材育成支援

創業資金支援

財務面からの事業承継サポート

創業予定者の掘り起し(機運醸成、創業後押し)

インキュベーション施設の提供

成長分野参入支援  
(医療機器・ロボット・航空機等)

創業者育成プログラムの提供

交流・連携プラットフォームの構築

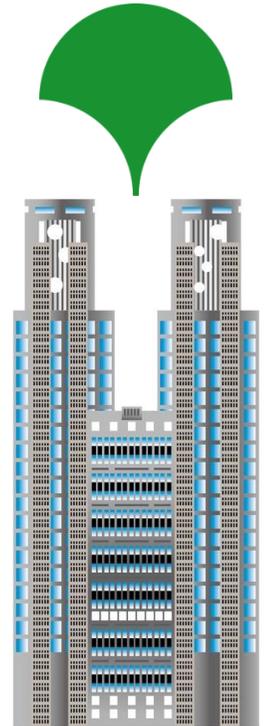
知的財産活用サポート

研究開発資金助成

技術支援窓口の設置

技術セミナー開催

若手・女性の開業支援

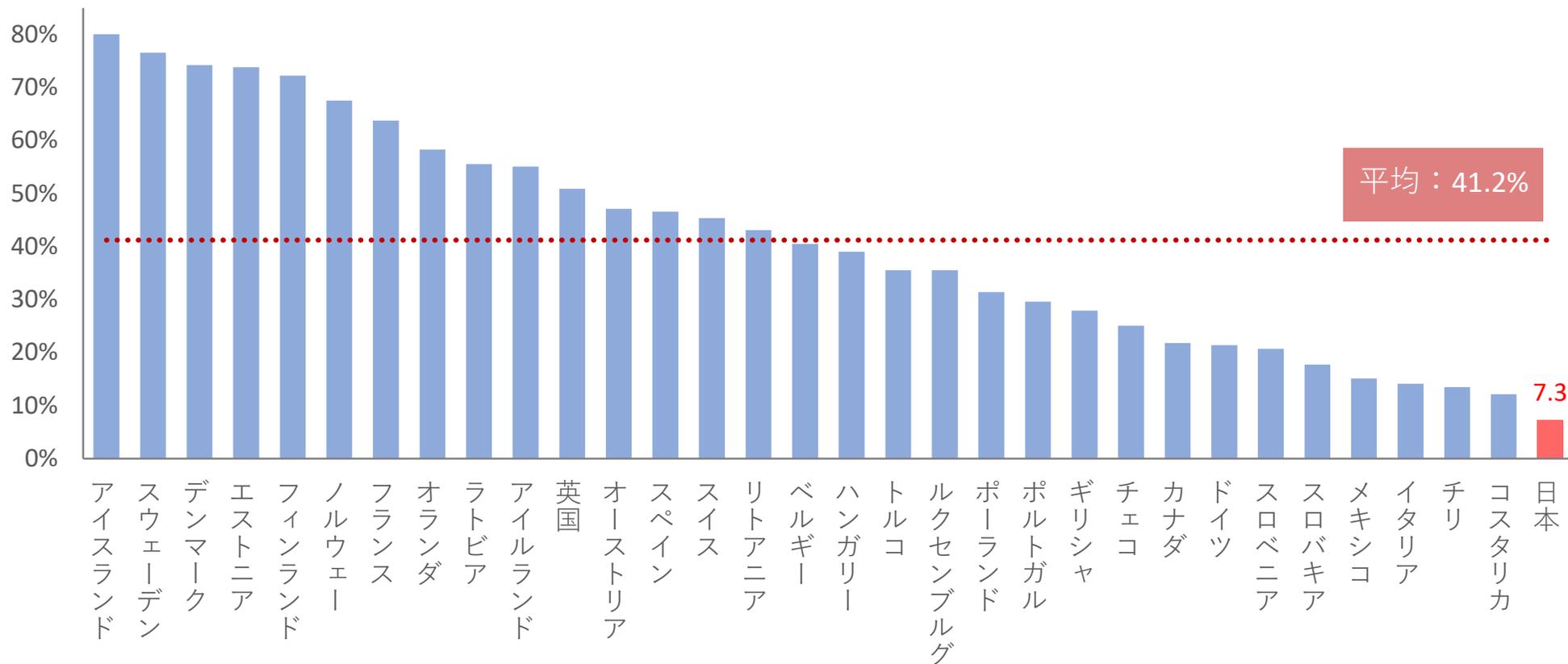


(資料) みずほ総合研究所作成

# 実効性を高める取り組み例①: IT活用による迅速かつ正確な支援の実施

## 過去1年間に公的機関のWEBページを通じて書類を送付した割合

過去1年間に公的書類をインターネット経由で手続きした個人の割合は7.3%  
7割を超える北欧諸国はもとよりトルコやメキシコ、チリなど新興国をも下回る

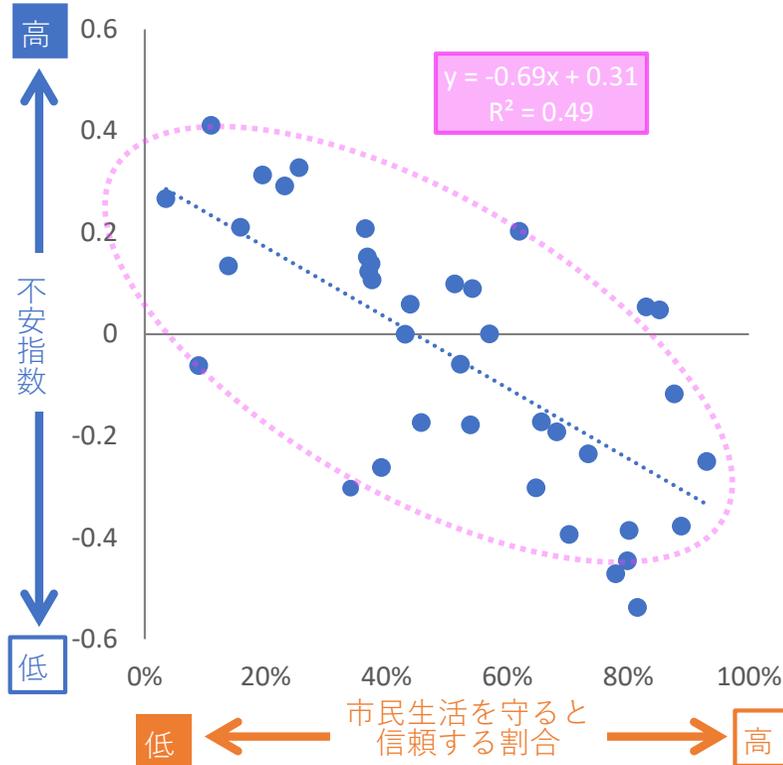


(出所) OECD Statより、みずほ総合研究所作成

# 実効性を高める取り組み例②: 行政の信頼度アップによる不安の軽減

## 政府への信頼感と不安指数

ツイッターを利用した調査(177カ国11万人以上が回答)によると政府・政策に対する人々の認識と不安感に相関

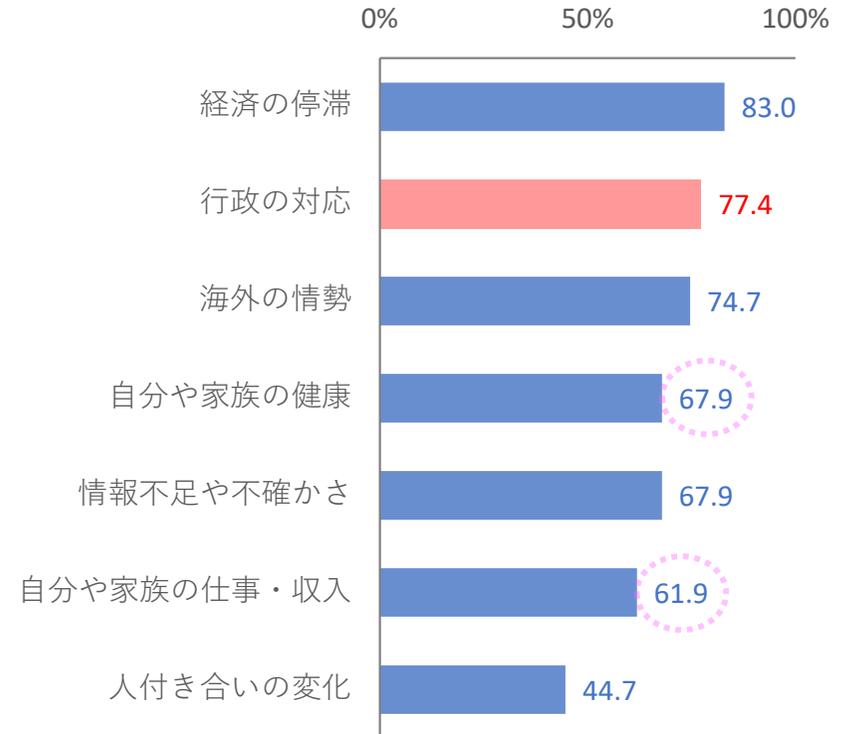


不安指数は、①現在の状況を考えると神経質になる、②イライラしている、③自分の健康が心配、④家族の健康が心配、⑤外出するのがストレス、の5項目について5段階で評価(非常にあてはまる=5、そこそこあてはまる=4、どちらともいえない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1)。5項目の合計値が不安指数となる。なお、各国比較に際して標準化している。

(出所)Fetzer et al (2020)より、みずほ総合研究所作成

## 新型コロナウイルス下での不安度(不安を感じる割合)

行政の対応に不安を感じるとの回答は77.4%  
自分・家族の健康や仕事収入の不安を上回る?

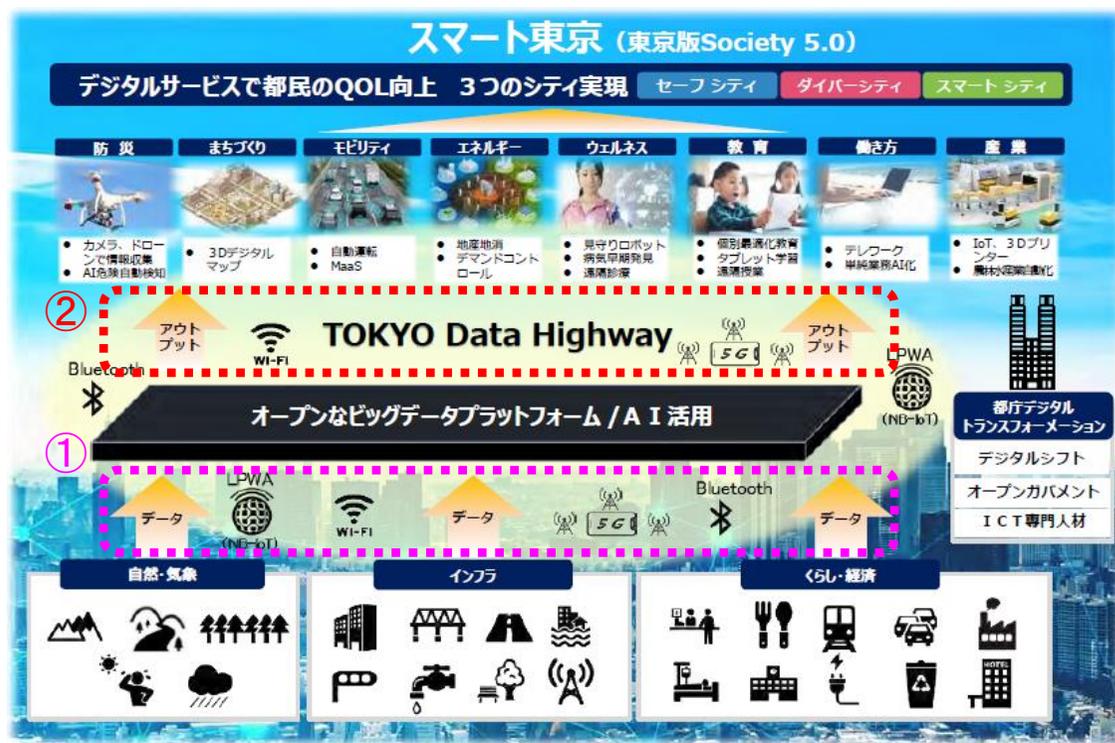


(注)首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1500名を対象。実施期間は6月4~8日  
(出所)博報堂「新型コロナウイルスに関する生活者調査」より、みずほ総合研究所作成

# カギ握る「データの利活用」と「論理的思考の徹底」

不確実な時代こそ、

- ① 様々な形で「事実のタネ(データ)」を集め、
- ② データから見えてくる「現実」を 多面的な視点(仮説) で評価・判断することが不可欠。

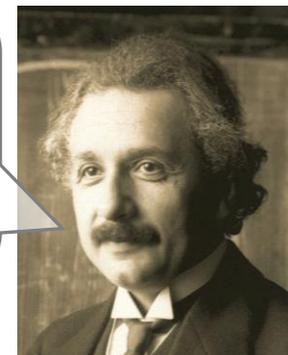


(出所)「未来の東京」戦略ビジョンより転載

Learn from yesterday,  
Live for today, hope for tomorrow.  
The important thing is  
not to stop questioning.

Albert Einstein

過去から学び、今日のために生き、明日に希望をもちなさい。  
大切なことは、疑問を持つことをやめないことだ。



# ご清聴ありがとうございました！

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、弊社が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、弊社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。